

## 平成 29 年度 第 3 回 男女平等推進市民会議 会議要録

日 時：平成 29 年 10 月 6 日（金）18:30～19:15

会 場：庁議室

参加者：名取はにわ会長・斎藤利之副会長・本田純委員・佐賀律子委員・森山義雄委員・  
世木澤久美子委員

事務局：生活文化課長・男女共同参画係長・男女共同参画係員・男女平等推進センターコー  
ーディネーター

### ○議題

- (1) 平成 29 年度第 2 回男女平等推進市民会議 会議要録（案）について
- (2) 東久留米市第 2 次男女平等推進プランの進捗状況評価について（平成 28 年度事業）
- (3) その他

・議題 (1) 平成 29 年度第 2 回男女平等推進市民会議 会議要録（案）について

～異議なし～

・議題 (2) 東久留米市第 2 次男女平等推進プランの進捗状況評価について(平成 28 年度事業)

会 長：それでは、第 2 次男女平等推進プランの進捗状況評価(平成 28 年度事業)について、事務局よりご説明をお願いしたい。

事 務 局：資料 2、評価通番 5 の児童青少年課の部分になるが、書き方について指摘があった部分を次のように修正した。『男女平等』より『一人ひとりの自立』が重要であり、そうした打ち出し方で教育を行って欲しい。」から『男女平等』はもとより『一人ひとりの自立』も重要であり、これらを目指した教育を行って欲しい。」に。「男女平等」は憲法にも謳われていることから修正した。

～答申文（案）読み上げ～

会 長：前回、庁内の女性の登用が進んでいないという発言があったと思うが、非常に重要な視点であり、答申の中に入れて方が良いのではないかと思う。

委 員：これだけ年数を重ねて、結果として進んでいないことがはっきりわかるので、これから本当に進むように何とかしなければいけないと感じる。

会 長：それと関係するが、庁内に男女共同参画推進協議会というのがあるが、部長職に女性がいないので、女性が入っていないというのでは、男女共同参画推進に

はならない。国の場合では、女性がない部署は、職位が低くても協議会の構成員になって議論に参加してもらうという制度を取っていた。そういう制度は市でもとれると思うので、ぜひとも女性を入れてもらわないといけない。

委員：女性を入れるというのは制度的には可能なのだろうか。

事務局：仕組みを作れば可能と思われる。

会長：条例ではないと思うので、内部的に決められると思う。方法は検討してもらうとして、男女共同参画推進協議会に女性を入れるように検討するという方向で提言させていただきたい。

委員：「男女共同参画」だからこそ女性が入っていきなくてはいけないのだと思う。構成員が男性ばかりしかいない。それは女性の登用が進んでいない結果が、こうなっている。鶏が先か卵が先かということかもしれないが、それは対になっている話だと思う。

委員：女性を入れる時に、1人だけ入れても発言しにくく感じてしまうこともあるので、最低2人は入れて発言しやすい環境を整えるのも重要だと思う。

会長：それでは、ご賛同いただいたということによろしいだろうか。

(異議なし)

会長：市長に答申を出すというのは年に1回のことなので、他に有れば是非ご意見お願いしたい。もし思いつかれた方は、事務局までお願いしたい。

#### ・議題(3) その他について

事務局：次回の会議は1月中旬を予定している。また、議題については、3次プランの評価方法についてということで、今まで頂いたご意見をもとに評価方法の案をお示しして、アイデアや修正点などご議論いただきたい。また、表彰を1月の会議の中でできればと考えている。

事務局：答申の予定で、10月19日に答申を予定しているが、12日まで意見を待って、最終的に会長、副会長と最終調整を行い、その後は事務局に一任ということで構わないだろうか。

会長：12日まで意見を待って、その後は私達に一任ということでよろしいだろうか。

(異議なし)

事務局：現在、「わたしの防災コトはじめ」と題して、沿線3市男女共同参画連携事業の3年目ということで東久留米市が幹事市でやっている。「防災と男女共同参画」をテーマに啓発を行ってきたが、ようやく一歩踏み出し、防災防犯課と一緒にやることができた。本日、イベントとして、内閣府でも活躍されている浅野幸子先生の講演会を行った。多くの方に知って頂くということが大切なことであるので、ぜひよろしくお願いしたい。

○次回会議1月中旬(日程調整)